

月 別 市 況

1 月

1月の取扱頭数は、牛8,801.5頭、豚36,074.5頭で1日平均取扱は、牛463頭(前月比92.2%)、豚1,898頭(111.9%)であった。

年末在庫を抱えて荷動き振るわず牛豚とも低調。

相場は和牛、乳牛保合。豚白上物431円(前月比4円安)保合。

牛枝肉の月間平均価格は和牛(A-4)2,248円、乳牛(B-3)1,392円であった。

豚の取引は全国出荷頭数172万8千頭で1日平均7万8千500頭で前月比3%増。

相場は保合。

輸入牛肉は、2,630トンが上場され、98.5%が落札。

市況は全体高値で相場は強保合。

3 月

3月の取扱頭数は、牛10,546頭、豚41,672.5頭で1日平均取扱は、牛422頭(前月比100.0%)、豚1,667頭(105.7%)であった。

天候不順とそのうえ年度末と諸経費のかさむ時期で消費振るわず、入荷も牛横這豚保合。

相場は和牛上押、乳牛強保合、豚白上物441円(前月比16円安)であった。

牛枝肉の月間平均価格は和牛(A-4)2,178円、乳牛(B-3)1,285円であった。

豚の取引は全国出荷頭数183万5千頭で、1日平均7万600頭と前月比5%減。

相場は安保合。

輸入牛肉は、3,037.5トンが上場され、落札率は90.8%が成立。

相場は下押。

5 月

5月の取扱頭数は、牛10,006頭、豚36,351頭で1日平均取扱は、牛416頭(前月比99.2%)、豚1,514頭(92.8%)であった。

ゴールデンウィーク後の家計費の引き締めと味覚の変換期が直なり、入荷は牛は横這い豚は減少。

相場は牛は保合。豚白上物は537円(前月比104円高)と高騰。

牛枝肉の月間平均価格は和牛(A-4)2,220円、乳牛(B-3)1,240円であった。

豚の取引は全国出荷頭数173万9千頭で、1日平均7万2千300頭と前月に比べ2.5%増加。

相場は上伸。

輸入牛肉は、2,749.1トンが上場され、全量が成立。

相場はマチマチ。

2 月

2月の取扱頭数は、牛9,705頭、豚36,256.5頭で1日平均取扱は、牛422頭(前月比91.1%)、豚1,576頭(83.0%)であった。

前月末からの寒さの影響と消費が振るわないことから、牛豚入荷減。

相場は和牛乳牛ともに弱保合。豚白上物457円(前月比26円高)と上伸。

牛枝肉の月間平均価格は和牛(A-4)2,204円、乳牛(B-3)1,374円であった。

豚の取引は全国出荷頭数169万5千頭で、1日平均7万3千700頭で前月比7%減。

相場は上押。

輸入牛肉は、2,952.1トンが上場され、落札率は99.2%が落札。

相場は保合。

4 月

4月の取扱頭数は、牛9,642頭、豚37,512頭で1日平均取扱は、牛419頭(前月比99.0%)、豚1,631頭(97.0%)であった。

「花の万博」の開催に伴い関西方面の需要見込みの増加で東京への入荷は牛豚ともに減少。

相場は和牛乳牛強保合。豚白上物は433円(前月比8円安)であった。

牛枝肉の月間平均価格は和牛(A-4)2,148円、乳牛(B-3)1,261円であった。

豚の取引は全国出荷頭数169万5千頭で、1日平均7万625頭と前月に比べ微増。相場は弱合。

輸入牛肉は、2,300.6トンが上場され、落札率は100.0%が成立。

相場は全ての部位が高値で推移し上押。

6 月

6月の取扱頭数は牛9,801頭、豚34,070頭で、1日平均取扱は牛392頭(前月比94.2%)、豚1,363頭(90.0%)であった。

気候がよくなるにつれて安定するかにみえた入荷量は牛豚ともに減少。相場は和牛上押、乳牛反落、豚白上物は540円(前月比3円高)強保合。

牛枝肉の月間平均価格は和牛(A-4)2,229円、乳牛(B-3)1,139円であった。

豚の取引は全国出荷頭数163万1千頭で、1日平均6万5千200頭と前月に比べ10%減少。

相場は強保合。

輸入牛肉は2,536トンが上場され、各部位に不落が目立ち89.0%が成立。相場は保合。

7 月

7月の取扱頭数は、牛11,316頭、豚33,456.5頭で1日平均取扱は、牛452頭（前月比115.3%）、豚1,338頭（98.2%）であった。

空梅雨で食欲も回復し、搬入和牛が急増牛全体の取扱量を15%引上げたが、豚の入荷は小幅減。

相場は和牛乳牛強保合。豚白上物は610円（前月比70円高）と高値続伸。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,264円、乳牛（B-3）1,256円であった。

豚の取引は全国出荷頭数163万9千頭で1日平均6万5千560頭と前月に比べ5.0%増加。相場は高値安定。

輸入牛肉は2,140.2トンが上場され、前月に引き続き落札率は低調で、86.5%が成立。相場は下押。

9 月

9月の取扱頭数は、牛10,105.5頭、豚31,570.5頭で、1日平均取扱頭数は牛439頭（前月比101.6%）、豚1,373頭（102.3%）であった。

再度の台風と残暑が長引いた9月ではあったが入荷は牛、豚ともに順調で推移した。

相場は和牛強保合、乳牛弱含。豚白上場531円（前月比99円安）と一気に落ち込んだものの例年より高値であった。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,233円、乳牛（B-3）1,272円であった。

豚の取引は全国出荷頭数159万4千500頭で1日平均6万9千300頭と、前月比5.4%増加。相場は下押。

輸入牛肉は、1,492.3トンが上場され、93.7%が成立。相場は保合。

11 月

11月の取扱頭数は、牛12,206.5頭、豚41,514.5頭で1日平均取扱は、牛530頭（前月比113.7%）、豚1,805頭（112.7%）であった。

需要期に入り入荷は牛豚とも続伸。

相場は和牛強保合、乳牛保合。豚白上物372円（前月比21円安）と下押。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,262円、乳牛（B-3）1,306円であった。

豚の取引は全国出荷頭数187万7千頭で1日平均8万1千600頭で、前月比7.9%増加。相場は下押。

輸入牛肉は、2,841.6トンが上場されたが前月比1,000トン増とあって、69.4%が成立。相場は安保合。

8 月

8月の取扱頭数は牛10,810頭、豚33,555.5頭で、1日平均取扱は牛432頭（前月比95.5%）、豚1,342頭（100.3%）であった。

夏休みと暑さで食欲も減退気味で入荷は牛減少、豚は需要期を迎え続伸。

相場は牛各々保合。豚白上物が630円（前月比20円高）と前月に続いて続伸。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,202円、乳牛（B-3）1,303円であった。

豚の取引は全国出荷頭数164万3千頭で1日平均6万5千7百頭と前月比若干増加。相場は続伸。

輸入牛肉は、1,838トンが上場され、前月に続く不人気で90%が成立。相場は安保合。

10 月

10月の取扱頭数は、牛11,660頭、豚40,065頭で1日平均取扱は牛466頭（前月比106.1%）、豚1,602頭（116.7%）であった。

食欲の秋に向かって牛、豚ともに入荷は順調。

相場は和牛強保合、乳牛強含。豚白上物393円（前月比138円安）と続落。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,247円、乳牛（B-3）1,288円であった。

豚の取引は全国出荷頭数189万頭で1日平均7万5千600頭と前月比9%増加。

相場は続落。

輸入牛肉は、1,822.9トンが上場され、荷もたれ気味で84.7%が成立。

相場は保合。

12 月

12月の取扱頭数は牛13,512頭、豚40,781.5頭、1日平均取扱は牛540頭（前月比101.9%）、豚1,631頭（90.4%）であった。

年末の最需要期にもかかわらず暖冬の影響で、消費が伸び悩み入荷は和牛上押、乳牛下押、豚減少。

相場は和牛上押、乳牛保合。豚白上物412円（前月比40円高）と反発。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,422円、乳牛（B-3）1,322円であった。

豚の取引は全国出荷頭数190万4千頭で1日平均7万9千3百頭で前月比2.8%減少。

相場は上押。

輸入牛肉は、2,672.9トンが上場され、68.4%が成立。相場は下押。